

福田茂夫著「立志の道 足利を歩くー清々しい気持ちでー」両毛新聞、2012年7月26日刊を読む

### 「立志の道足利」とは

1. (1) 足利学校と鑿阿寺と織姫神社は全国に発信できる足利市民の誇れる歴史遺産である。  
(2) そこには先哲が築いた思想が形として残されている。  
(3) この3つの歴史遺産がコンパクトに点在している。  
(4) この3つの拠点を道として結んだ。  
(5) 3カ所を直に歩いていくと心の中に志の炎が灯ってくる。  
(6) 人は誰でも志の炎が灯ることによってその人の真価が発揮されてくる。
2. (1) 「立志の道足利」を歩くことによって、私は将来この仕事を通じて世の中に役立ちたいという志が灯ってくる。  
(2) 足利学校では、学問・教育への道に進みたい。  
(3) 鑿阿寺では政治・行政への道に進みたい。  
(4) 織姫神社では実業への道に進みたい。という志に火が付く。
3. (1) また、既に志が立っている者には、幾度かの辛酸を経て志始めて固くの如く「立志の道足利」を歩いて、ゆるぎない志を固めることが出来るのです。
4. (1) 己の志を見つめ直し、ゆるぎないものになっているかを再確認してみてもうだろうか。  
(2) 心の中に志の炎が灯っているのが青春です。心の若さはいつも保っていたい。
5. 志は、自己を磨き、自己を激励してくれ、元気を生み出す呼吸とも言うべき趣があります。
6. (1) 生きて行く途中、心が萎えて折れそうな場面に出逢う時もある。  
(2) その時は「そうだ、以前立志の道足利を歩いたなあ。その時私の志を書いたなあ。もう一度歩いてみよう」と。

(3) 家族と一緒に歩き、子供達に志について学ばせ、将来の仕事選びを考える時、または、新入社員研修に、定年後の人生を生きる際に、「立志の道足利」を歩いてみてはいかがだろうか。

(4) 将来、「立志の道足利」の道沿いの商店街が賑わうことを目標にこの構想を推進していきたい。

7. (1) APS では今年より「立志の道足利」を歩こうという企画をしました。

(2) 第1回は7月1日(日)に実施しました。

(3) 午前9時から**足利学校**では、孔子が学に志した話を通して「学問・教育」への志について。

(4) 石畳通りを歩きながら尊氏公の立像の前では、室町幕府を開いた足利尊氏公の「政治・行政」への志について。

(5) **鑱阿寺**では、大銀杏と相田みつを氏との関係話や、灯を付けて初めて真価が発揮される、ろうそく(灯明)の話。

(6) 一切経堂においては、室町文化について。

(7) そして、北中通りを、同通りの再生(活性化)を話しながら歩く。

(8) **織姫神社**では 229 段の石段を登り、途中、萩野萬太郎、殿岡利助両先人たちの「実業」への志について。

(9) 「縁結びの神」神社本殿においては、志を成し遂げるための7つの御縁についてなど、熱の入った福田代表世話人からの話でした。

(10) その後、出発時に配布した葉に参加者各々の「私の志」を書き発表。

(11) 最後に、参加者全員で**足利学校**の方向に向かい、準備した「論語素読10選」を素読して清々しい心で解散した。

(12) 第2回は11月4日(日)に開催を予定している。

#### [コメント]

足利市教育委員でもある ASP(足利再生プロジェクト)代表世話人の福田茂夫先生の活動の一つである「立志の道」は、高い志(こころざし)を持ち続けてよく生きることを目指す人々にとって極めて具体的に自分自身を見直す素晴らしい試みと高く評価したい。

2013年は4月28日(日)午前9時足利学校スタートで、午前11時までの2時間コースで開催が予定されているようだ。(参加費、保険料含め500円)。是非、参加したい。

— 2013年2月26日 林 明夫記 —